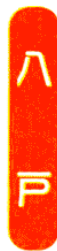


東奥日報

2025年(令和7年)3月26日(水曜日) (14)



八戸工業大学は21日、本年度開講した「外国人特定技能エンジニアプログラム」の2期生の修了式を同大で行った。ミャンマーから来日し、昨年10月から半年間の学習を終えた9人は、技能評価試験に合格して「特定技能1号」の在

留資格を取得。就労を間近に控えて決意を新たにした。

2期生は工業製品製造業分野に11人が入校。このうち9人が修了式を迎えた。特定技能は最長5年働ける1号と、熟練技能を要し、家族の帯同が認められ事実

特定技能1号 9人取得

八工大が支援 就労間近、決意新た



記念写真に納まる坂本学長（後列左から4人目）と修了生たち

上永住もできる2号があり、9人は今後、働きながら修了証を手渡し、「日本、2号の取得を目指す。八戸での生活に多くの戸惑いがあったと思うが、乗り

越えて目標を果たされたことと、その前向きな姿勢と努力に敬意を表する」とあいさつした。

修了生を代表し、来月から新潟県の電子機器組み立てなどを手がける企業で働くナンディウィンさんが大学の教職員らへの感謝を語り、「これから新たなスタートを切る。責任を持って新しい社会に貢献できるように努力してまいります」と決意を述べた。

同大によると、来月から建設分野と自動車整備分野にミャンマー人計11人が入校する。10月からの後期には自動車運送業分野のコースを設ける方針という。

(大庭菜摘)